

大日本スクリーン製造株式会社

2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年11月11日

資料の取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・FPDパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。

2009年3月期第2四半期決算概要

代表取締役社長

最高執行責任者(COO) 橋本 正博

本日のアジェンダ

- 四半期連結業績と分析
- 売上高・営業利益/受注高・受注残高の四半期推移
- 各事業環境について
 - 半導体製造装置事業
 - FPD製造装置事業
 - 画像情報処理機器&その他電子工業用機器事業
- 業績予想の修正について
- 今後の取り組み

四半期連結業績

(単位 億円)	1 Q	2 Q		上期	
	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	520	709	707	1,230	1,228
営業利益	△8	46	48	38	40
営業利益率	△1.6%	6.5%	6.8%	3.1%	3.3%
経常利益	△11	23	33	12	21
税金等調整前 純利益	△35	—	32	—	△3
純利益	△30	14	17	△16	△12

当上期の連結業績分析

売上高

実績 1,228億円 上期計画 1,230億円 (達成率 99.9%)

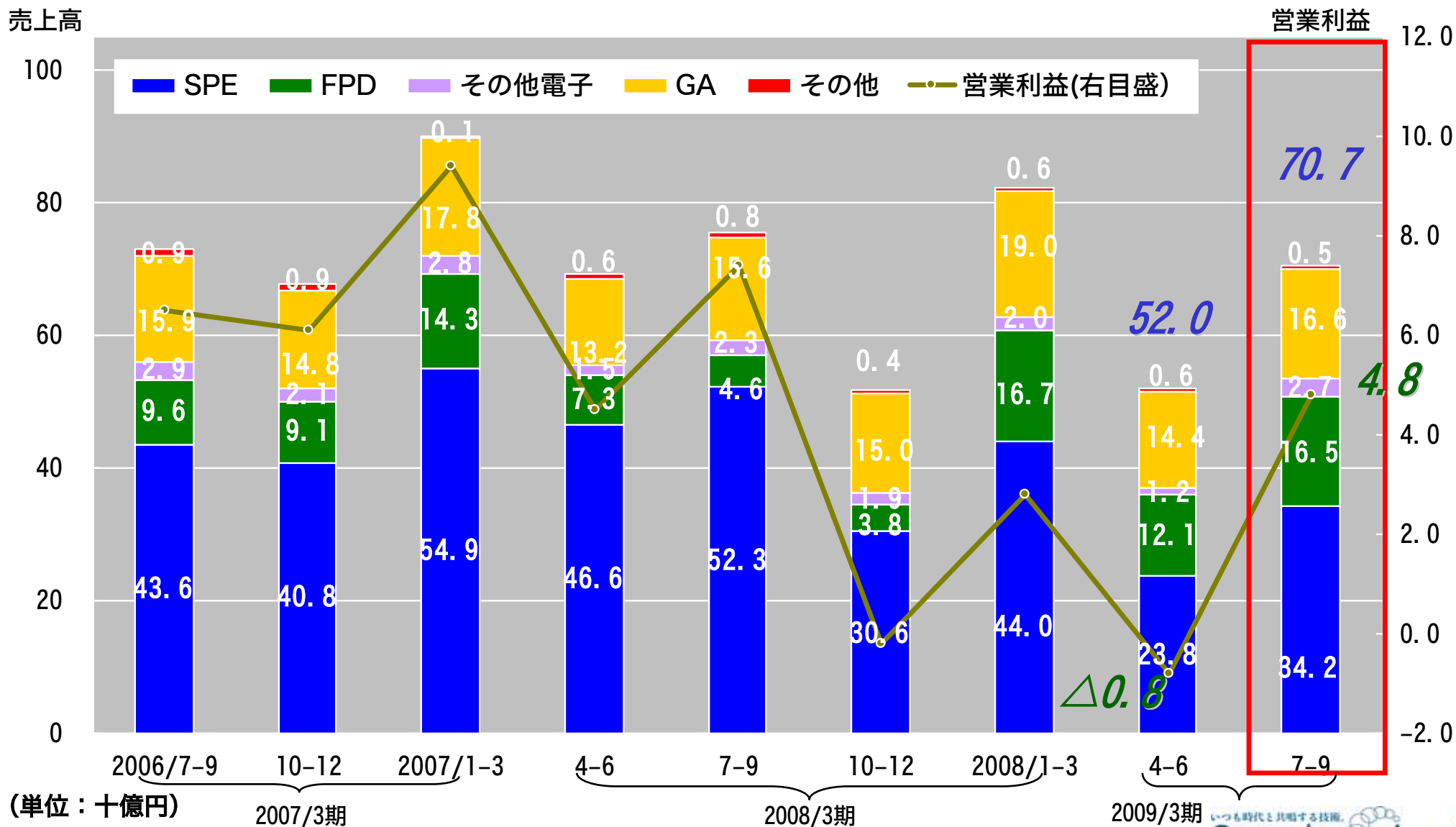
	実績 (計画達成率)	ポイント
SPE	580億円 (100.1%)	計画通り
FPD	287億円 (99.2%)	ほぼ計画通り
その他電子	39億円 (87.2%)	投資抑制と競争激化により減少
GA	310億円 (101.9%)	CTP、インクジェット機ともに堅調

営業利益

実績 40億円 上期計画 38億円

	実績	ポイント
電子工業用機器	22 億円	SPE : ほぼ計画通りの結果 FPD : 計画より若干のプラス その他電子 : 売上減少に伴い赤字
画像情報用機器	17 億円	売上増と為替益により計画より増加

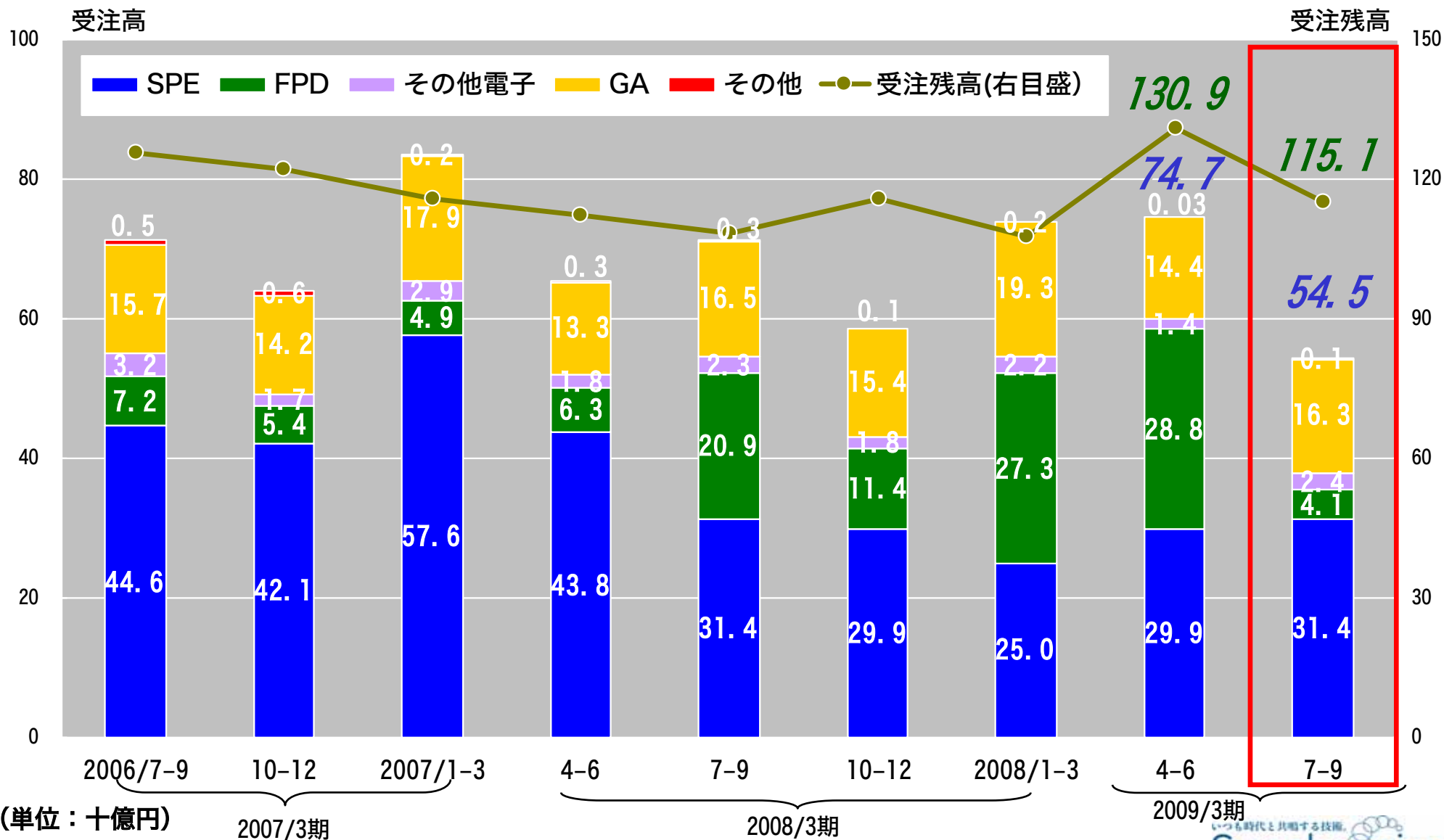
売上高・営業利益 四半期推移 (連結)



(単位：十億円)

棒グラフの青文字は、四半期売上高合計を示す。

受注高・受注残高 四半期推移 (連結)



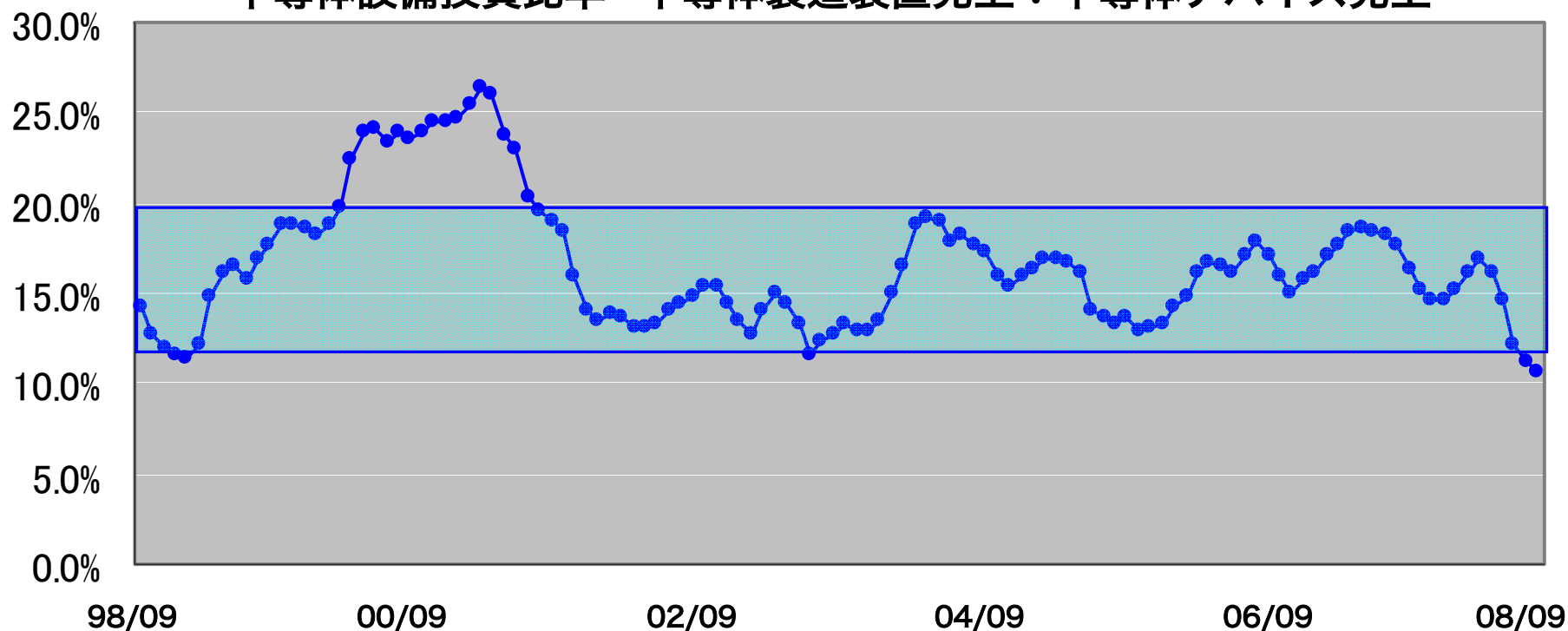
(単位：十億円)

棒グラフの青文字は、四半期受注高合計を示す。

半導体市場環境（設備投資比率の推移）

過去経験のない低調なレベルに

半導体設備投資比率 = 半導体製造装置売上 ÷ 半導体デバイス売上

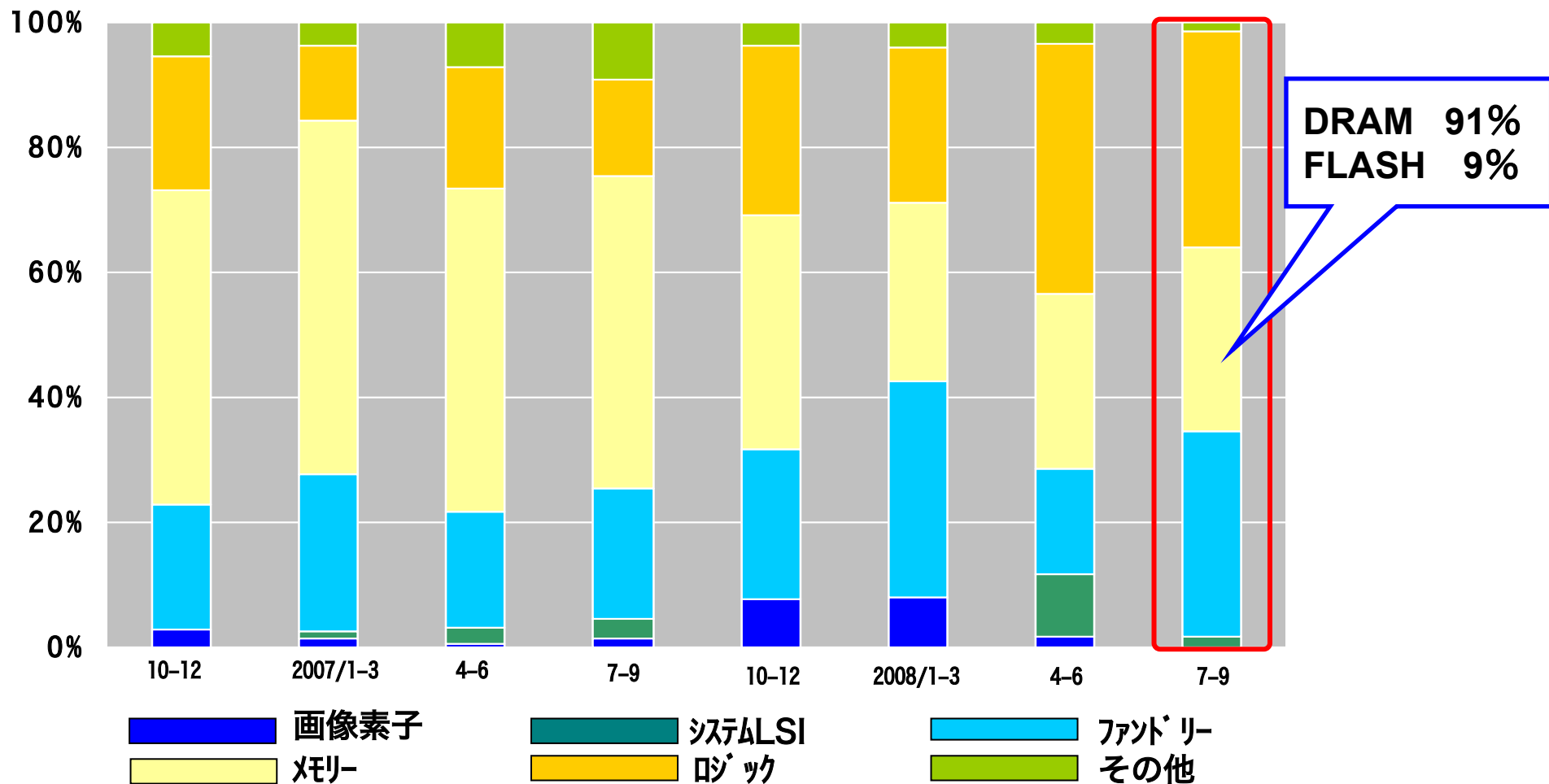


(SEM I 統計をもとに当社マーケティング部作成)

半導体製造装置事業

デバイス分類別受注比率 四半期推移(単独)

全体的に低調に推移・ロジック向け投資は堅調



1. デバイス別投資予想

DRAM	急激な価格下落により設備投資にブレーキ 微細化投資は継続
NAND	設備投資は依然低調
ロジック	堅調に推移
ファブリー	工場稼働率低下に伴い、投資姿勢は慎重

2. トピックス

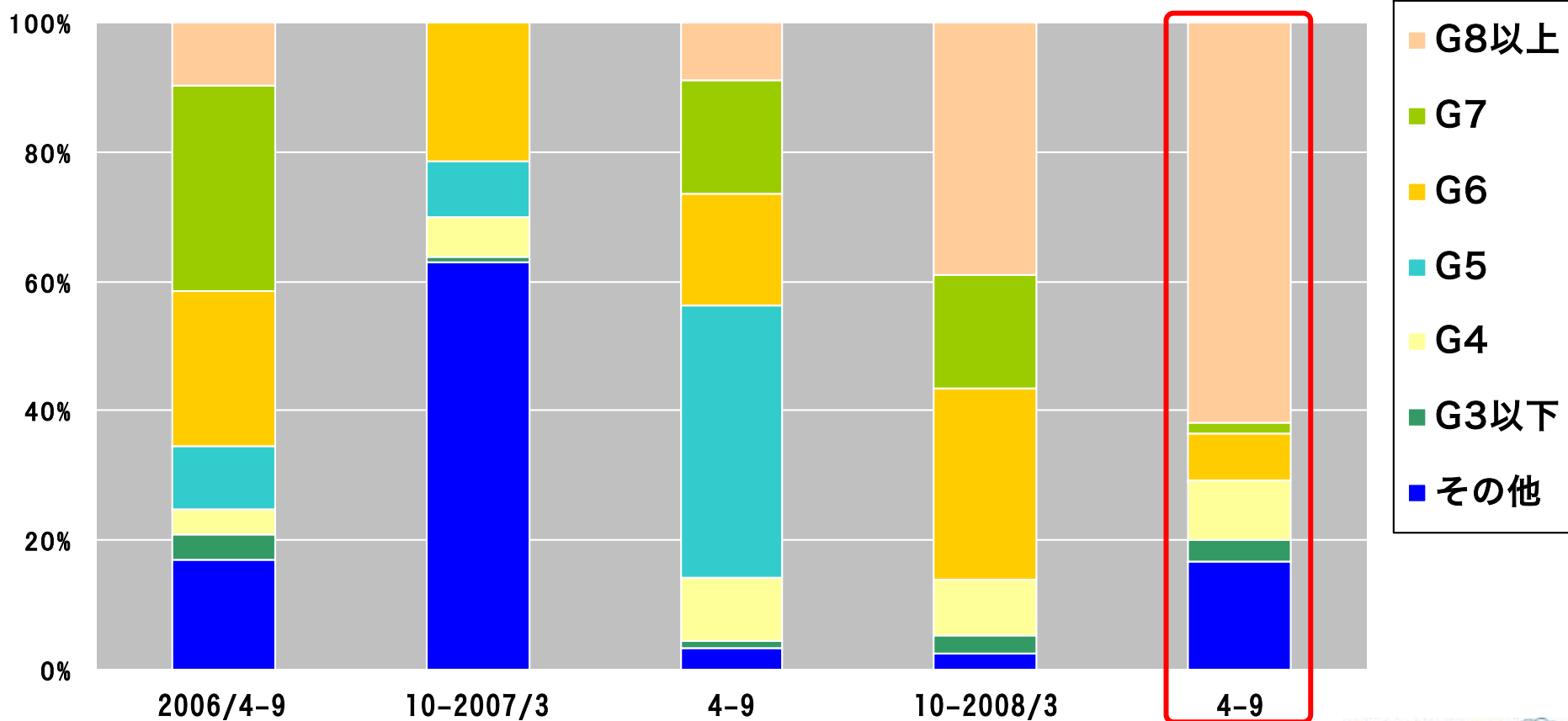
- 枚葉式洗浄装置「SU-3100」搭載の
新レベルエッチング機能をリリース



微細化投資に向けてさらに製品力強化

FPD製造装置事業 世代別受注比率 半期推移 (単独)

- 上期受注額は330億円⇒ほぼ計画どおり
- 世代別では、第8世代以上が60%以上を占める
- 下期受注は減少を予想



トピックス

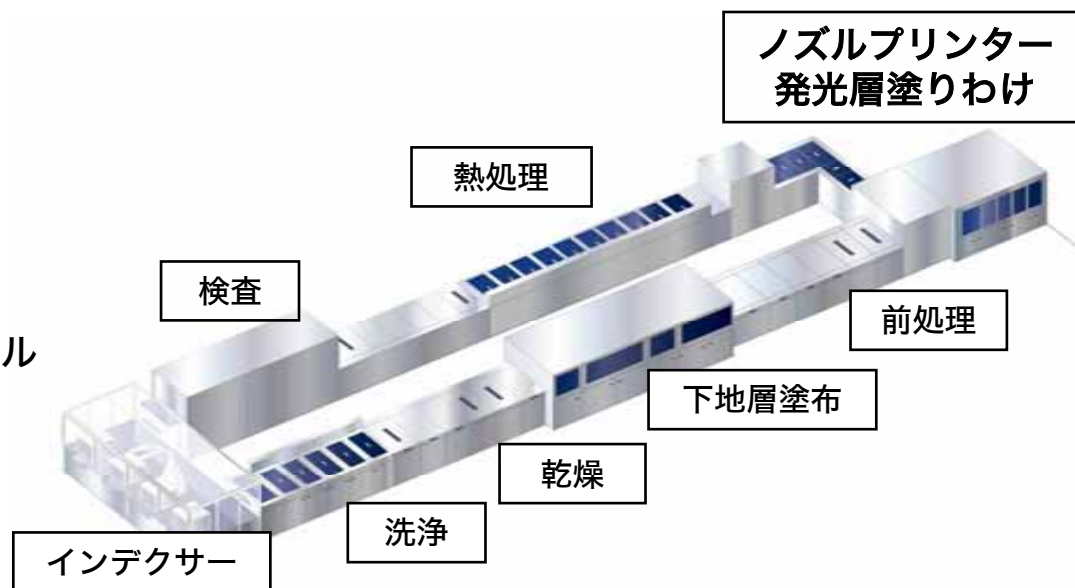
- FPD International 2008(10.29 – 10.31)で
ノズルプリンティング有機ELパネルを実物展示



ノズルプリンティングによる4.2インチ有機ELパネル



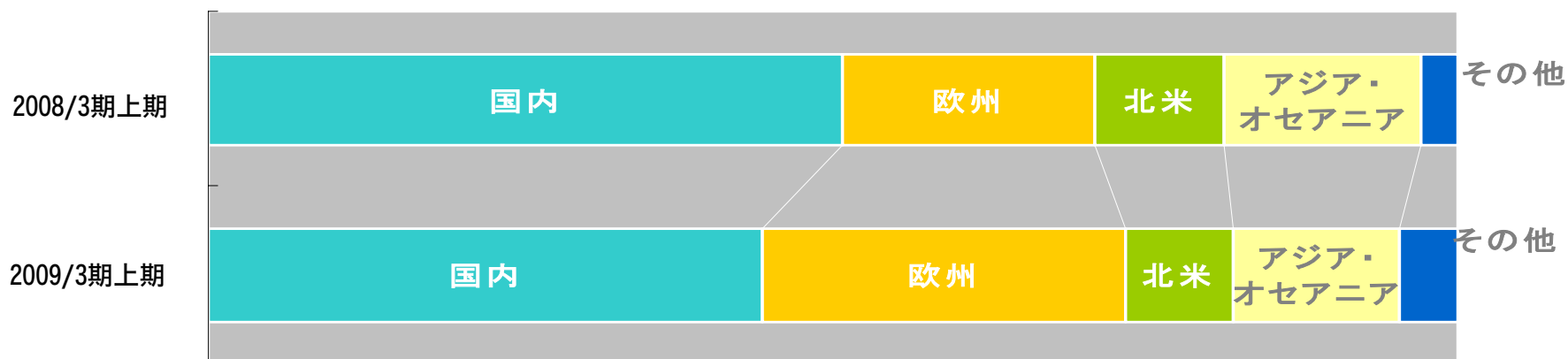
注目を集める当社ブース



大型有機ELパネル量産用製造一貫ライン

画像情報処理機器 地域別売上高比率 前年同期比較 (連結)

- **欧州は売上堅調**
CTPの新規販売チャンネルが寄与
- **厳しい国内市場環境**
資材高の影響が大きく売上減少

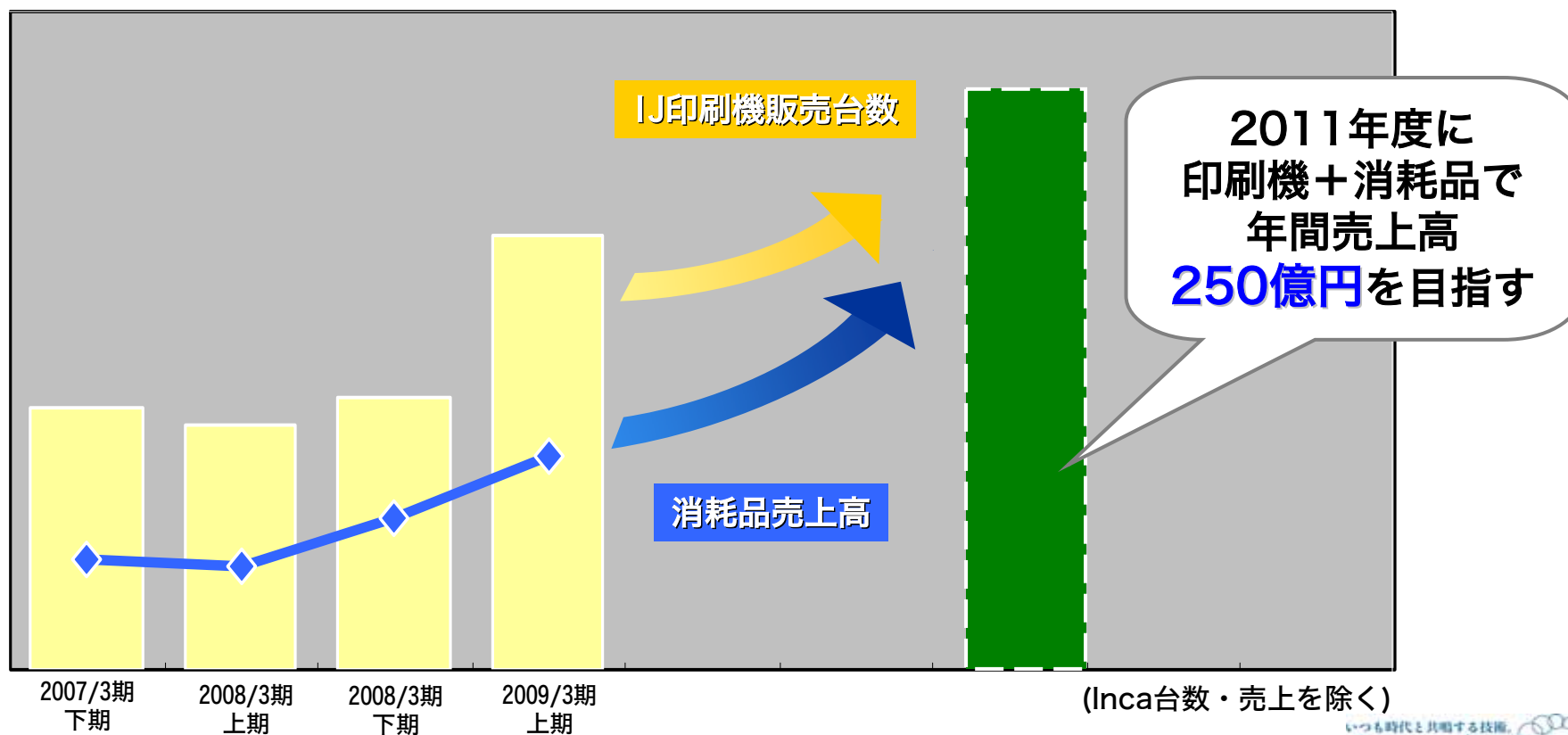


(OEM製品についてはOEM先の所在地別に計上)

(Inca売上を除く)

画像情報処理機器 インクジェット印刷機関連ビジネス推移(単独)

- インクジェット印刷機の販売台数は順調に増加
 - 来期以降も新機種の市場投入
- 販売台数の増加に伴い消耗品ビジネスも拡大



トピックス

■ インクジェット印刷機が売上を順調に伸ばす

主力のTruepress Jet520が順調
Inca社の大型サインディスプレイ用も堅調



Truepress Jet520

■ Truepress Jet2500UV

下期売上に期待
SGIA展にてプロダクト・オブ・ザ・イヤー受賞
(2008年10月15日 アトランタ)



Truepress Jet2500UV



2009年3月期連結業績予想

(単位：億円)	上期	下期		通期		増減
	実績	前回予想 (5/12)	今回予想 (11/10)	前回予想 (5/12)	今回予想 (11/10)	
売上高	1,228	1,500	1,121	2,730	2,350	△380
SPE	580	770	399	1,350	980	△370
FPD	287	340	342	630	630	—
その他電子	39	55	60	100	100	—
GA	310	325	309	630	620	△10
その他	10	10	9	20	20	—
営業利益	40	89	11	127	52	△75
経常利益	21	83	△19	95	2	△93
当期純利益	△12	48	△27	32	△40	△72
1株当たり配当金(円)				5	3	

事業環境変化に対する取り組み

- 急激な市場環境の変化に対応すべく「緊急対策」を実施
 - コスト削減の実施（期初計画比△40億円）

- 資金調達の早期対応と多様化
 - キャッシュの確保
 - 金融市場の混乱に伴い、間接金融により150億円調達済

- 次期中期経営計画については、慎重に内容を再検討
 - 正式発表を来春に延期

今後に向けた取り組み

〈経営課題〉

- 事業ポートフォリオの再構築を実現できる
新事業の創出と既存事業の領域拡大

〈半導体製造装置事業〉

- 損益分岐点の引き下げ
- 枚葉式洗浄装置の利益拡大

〈FPD製造装置事業〉

- 有機EL製造装置の売上貢献

〈画像情報処理機器事業〉

- インクジェット印刷機の機種拡充

- 上期実績はほぼ計画通りであるが、半導体製造装置事業の市場環境激変により下期業績予想を下方修正
- 市場環境悪化に対応すべく、可能な限りのコスト削減を実施
- 有機EL製造装置やインクジェット印刷機の売上拡大を推進

SCREEN